

産婦人科研修の紹介

産婦人科専攻医 2年目 佐藤医師

2022年12月記載



これまでのローテート

2021年4月-産婦人科

☑研修実績 ...手術数、患者数など

- 手術数（1.2年合計）：帝王切開 執刀(1年目9月～)約30件 助手約50件
開腹手術 執刀 約10件（悪性含む） 助手 多数
腹腔鏡手術 執刀 40件 助手 多数
- 経膈分娩：160件（1年時） 双胎妊娠の経膈分娩含む
- 周産期（前置胎盤・重症妊娠高血圧）、良性疾患（子宮筋腫・骨盤臓器脱）、悪性疾患（手術執刀～術後化学療法主治医）など様々

☑特徴（魅力） ...強み、他院との違い、指導体制、カンファレンスなど

- 経膈分娩、帝王切開合わせて年間700件以上の分娩数（34週以降）
- 悪性疾患の手術症例も多く経験することが出来る
- 開腹、腹腔鏡、膈式、子宮鏡と幅広く手術手技を学ぶことが出来る
- 産科・婦人科の偏りがなく、どちらもバランスのとれた研修
- 専攻医が少ないため症例の取り合いはなく、豊富な件数を確保出来る

☑初期研修医へのメッセージ

当院の産婦人科は十分な分娩数があり、婦人科領域も良性・悪性疾患とも十分な手術件数があり、バランスよく経験することが出来ます。専攻医の数も少なく、症例の取り合いはありません。

カンファレンスも毎日行っており、担当患者について上級医へ相談する機会にも恵まれており、チームの雰囲気も非常に良く過ごしやすい環境です。

必要な知識・技術を偏りなくバランスよく学ぶことができ、産婦人科医としての基礎を固めるのに非常によい研修だと思います。